

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

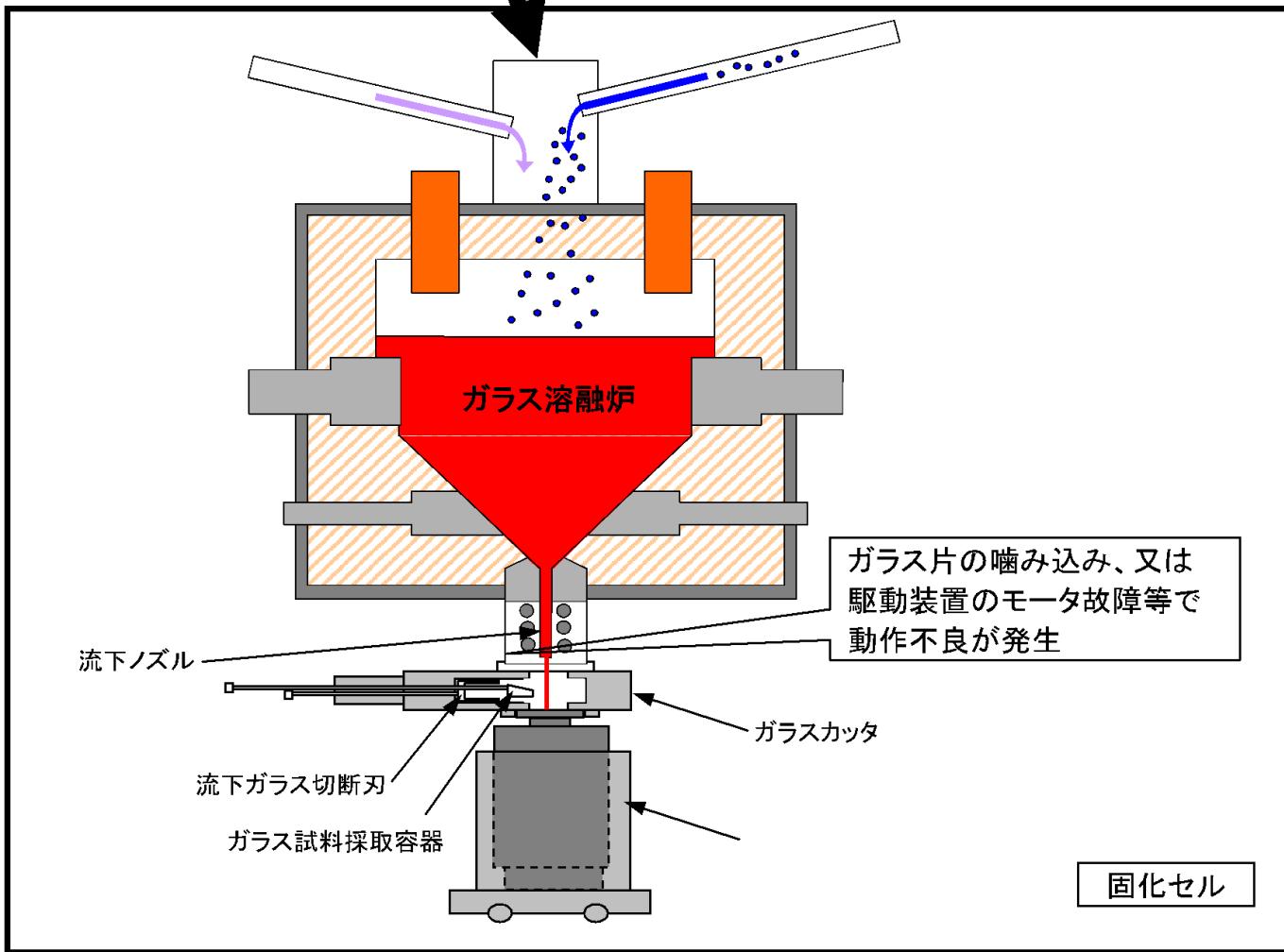
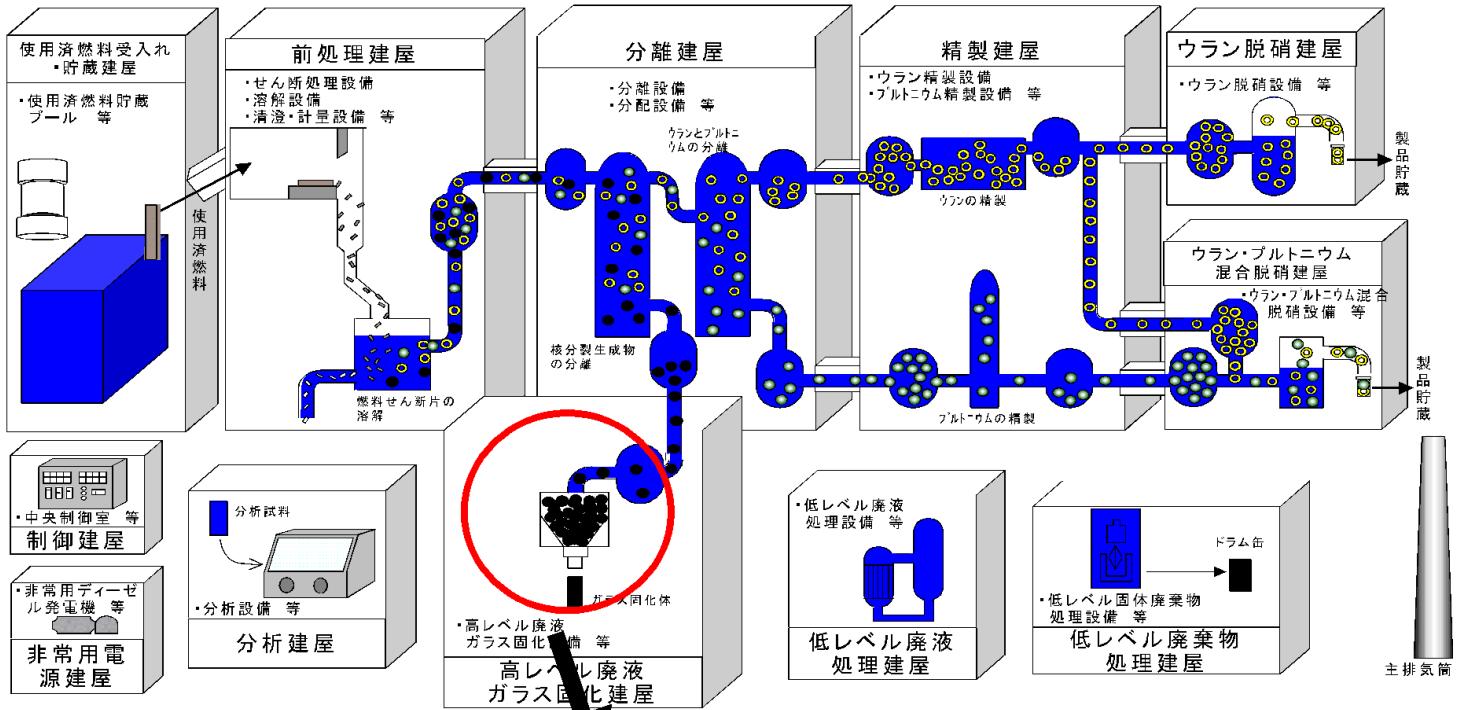
事象分類別 (C. 機器動作不良)

3-52. ガラスカッタの作動不良

<p>事象の概要</p> <p>(1)発生場所：機器</p> <p>(2)設備の概要</p> <p>(3)発生の状況</p> <p>(4)概要</p> <p>(5)原因</p>	<p>高レベル廃液ガラス固化建屋：ガラスカッタ</p> <p>高レベル廃液をガラス原料とともに加熱溶融し、ガラス固化体を製造する工程において、ガラス溶融炉から溶融ガラスを流下操作後に流下ノズルからの固体状の糸ガラス（棒状ガラス）を切断する機器。</p> <p>ガラス溶融工程の運転中</p> <p>ガラスカッタの動作中にガラスカッタ駆動装置のモータ過負荷等による異常停止やガラスカッタ動作後に流下ガラス切断刃が所定位置まで戻らない作動不良。</p> <p>運転を継続する中で偶発的に発生する駆動装置のモータ故障、又はガラス片の噛み込み。</p>												
<p>事象による影響</p> <p>(1)工場外への影響</p> <p>(2)安全性への影響</p> <p>(3)作業員への影響</p> <p>(4)他工程への影響</p>	<p>工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有するガラス固化建屋の固化セル換気が稼働している固化セル内での事象およびそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象は、放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>安全性への影響は生じない。 溶融ガラスの流下終了後における事象であり、また、ガラス溶融炉は保持運転状態を維持することで、これ以上事象の進展はなく、安全性への影響は生じない。</p> <p>作業員への影響は生じない。 ガラスカッタの復旧作業はセル内に設けられた I T V カメラ、パワーマニピュレーター等の遠隔操作機器をセル外から操作する遠隔作業であり、作業員への影響は生じない。</p> <p>他工程への影響は生じない。 ガラスカッタの復旧作業は、ガラス溶融炉を保持運転とした状態で速やかに復旧出来ることから、他工程への影響は生じない。</p>												
<p>対応の概要</p>	<p>1.固化セル内の I T V カメラ等によるガラスカッタの外観を確認する。</p> <p>2.ガラスカッタの作動不良事象の原因を調査する。</p> <p>3.固化セル内に設けられた I T V カメラ、パワーマニピュレーター等を用いた遠隔操作により、駆動装置のモータの保守、ガラスカッタの清掃（ガラス片の除去）等を行う。</p>												
<p>公表区分</p>	<p>毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）</p>												
<p>連絡区分*</p>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 33%;">A 情報</td> <td style="width: 33%;">B 情報</td> <td style="width: 33%;">C 情報</td> <td style="width: 33%;">ごく軽度な機器故障</td> <td style="width: 33%;">清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td style="width: 33%; background-color: #e0ffe0;">不適合等</td> </tr> </tbody> </table>	トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

定められた作業手順に従い当該箇所の補修又は清掃や調整により復旧

